

# こだいらちよつとむかし



## 子どもの遊び その2



あけましておめでとうございます。

今年は、昨年に引き続き、昭和20年代後半から昭和30年代にかけての子どもの遊びについて、タマおばあさんに語ってもらうかたちで紹介します。遊び道具などの少なかった時代、子どもたちはどのように遊んでいたのでしょうか。皆さんもぜひ、遊んでみてください。

### 羅漢さんまわし

羅漢さんって、知っているかい。羅漢さんはね、もともとは修行している偉いお坊さんのことなんだそうだね。

川越の喜多院には、五百羅漢という石で出来た像がそれこそ五百体以上あって、笑っているものあれば、怒っているもの泣いているもの、いろいろな表情をしているの。

それでね、その羅漢さんみたいに、いろんなしぐさをして遊ぶのが、羅漢さんまわしなんだよ。

私らが遊びでやった羅漢さんは、おもしろくてこっけいなね。

羅漢さんまわしは、まずみんなで中向きに輪になって座るの。それからひとりひとりがいろんなしぐさをやるの。アッカバンパーをする子もいれば、耳たぶを引っ張っている子もいるし、鼻を指で押し上げて豚の鼻のようにする子もいる。両方の人さし指を頭の上に角のように立てたり、口をねじ曲げたり、人と違つしぐさを考えるのも楽しいんだよね。

それぞれのしぐさができたら歌の始まり。

♪羅漢さんが揃ったらまわそじゃないか  
ヨイヤサノ、ヨイヤサノ  
ヨイヤサノ、ヨイヤサノ

と、歌はたったこれだけなんだけど、「ヨイヤサノ、ヨイヤサノ」の部分くり返し、くり返し歌うのね。

そして右隣の子の羅漢さんのしぐさをすばやくまねするの。みんながそれぞれ右隣の子のしぐさをまねするから、「ヨイヤサノ、ヨイヤサノ」で羅漢さんは次へ次へと移っていくわけ。こうして、どの羅漢さんも順々に左に回っていくの。

でもね、「ヨイヤサノ」の掛け声で右隣の羅漢さんのしぐさをまねしなきゃならないでしょ。右隣の子が今、アッカバンパーしたら、次は頭に角、次はほった引張ってと、か、はっぱか、はっぱか

変えるから、それを見てその通りにまねしているつもりだけど、動きが速いからね。右ばかり一生懸命見ているから、自分のしぐさのほうはどうしてもおろそかになっちゃうの。そのひよいひよいという感じをまねしてまわしてしまわねえ。だから自分の羅漢さんのしぐさが一周して戻ってきたとき、「なんて変わってきたんだらう。崩れ羅漢さんじゃないか」と思っちゃうんだよ。もうそのころは、どの羅漢さんもいいかげんの崩れ羅漢さんばかりになって、どんどん回ってたね。それがまたおもしろくて、飽きずに何度も何度も続けたものだったね。

それでね、この羅漢さんまわしは外で遊ぶものあるんだよ。外でやるのはまねっこ遊びじゃなくて、みんなで片足立ちで輪になって、ぐるぐる回すの。

その輪になるのが難しいの。片足で立って、もう片方の足のひざを曲げてね。次の人は前に立つ

て、その曲げたひざに、自分の足先を引っ掛けて、その前からまた一人が引っ掛けてと、どんどんつながっていくんだよ。それで最後の人が足先を最初の人のひざにひっかけると、つながって輪になるの。つながっていくうちにぐらつくけど、みんな支えあって片足だけでふんばるの。

そこで羅漢さんの歌を歌いながら、「ヨイヤサノ、ヨイヤサノ」のところで、手をたたきながら片足飛びして、つながったまま進むんだけど、とても難しく、すぐにぐらつくんだよ。そのままだめんどくさいことも多かったね。でもそれがおもしろくて、何度倒れても、足を組み直してやっ



### かごめかごめ

私が子どものころはね、みんなで歌いながら、いろんな遊びをしたもんだよ。寒くて外で遊べないときもあるでしょ。

そんなときは誰かの家に上がって縁側や火鉢の周りで遊ぶの。

私が好きな「かごめかごめ」は、丸く輪になって座って



て、まずじゃんけんで親を決めるの。みんなが手を軽く握って、筒にして、前に差し出すと、親になった子が、「かごめかごめ」をさす。

♪かごめかごめ  
ごまみそすい  
茶つぽに追われて  
トッピンシャン  
抜けたら どんどこしよ  
俵のネズミが 米食って  
チュウ  
チュウチュウ チュウ  
おとさんが呼んでも  
おっかさんが呼んでも  
行きつこなーしよ  
井戸のまわりで  
お茶わん欠いたの  
だあーれ

と歌いながら、みんなの手の筒の中に入さし指を順番に入れていくの。

♪かごめかごめ  
かごの中の鳥は

いついつ出やる  
夜明けの晩に 鶴と亀が滑った  
後ろの正面 だあーれ

歌い終わったときに、鬼の後ろにいる子が誰かを当てるんだけど、当たらないときは、また鬼になるんだよ。

鬼は耳をすませてね、後ろから聞こえる「だあーれ」の声を注意深く聞くの。それで「だあーれちゃん」って当てるんだけど、後ろの子はわざと声を小さくしたり、変えたり



ら かんさん が そ ろ た ら ま わ そ じゃ な い か  
よ い や さ の よ い や さ

タマおばあさんのお話は、いかがでしたか。感想をどうぞお寄せください。

協力 小平民話の会  
問合せ 秘書広報課 ☎042 (346) 95005